

資料編

A 障がい者調査 調査票

～ アンケート結果は、市の障がい福祉施策につなげていきます ～
 例えば、前回(令和元年度)のアンケート結果は、次のように活用されました。

- 広報・啓発活動の充実につなげました！
 (頂いたご意見) 外出の際、「まわりの人が障がいに気づきにくく、手助けを求めていることが難しい」(改善された施策) チラシの配布や公共交通機関の広告などでヘルプマークやヘルプカードの周知を進めるとともに、障がいの特性やサポート方法などをまとめた市民向けリーフレットを活用して、外見からはわかりにくい障がいについて周知を図りました。
- 地域生活支援拠点の充実につなげました！
 (頂いたご意見) 「自立して暮らせるようにグループホームや一人暮らしを体験できる場があること」「グループホームやアパートなどで自立して暮らせるようにすること」を重点的に進めてほしい。
 (改善された施策) 障がい者(児)の置換化・高齢化を見据え、地域全体で居宅支援を提供する地域生活支援拠点において、緊急時の迅速・確実な相談支援や宿泊・運動施設の整備などを進めています。

調査の内容について(回答所要時間の目安:30～45分)

- 1 回答いただく方について.....3
- 2 あなた(宛名の方)ご自身のことについて.....3
- 3 あなた(宛名の方)の障がいの状況について.....4
- 4 医療について.....6
- 5 障がい福祉サービスの利用について.....7
- 6 就労について.....10
- 7 収入について.....11
- 8 社会活動などについて.....12
- 9 相談について.....14
- 10 情報入手などについて.....14
- 11 災害時対策、緊急時の対応などについて.....15
- 12 差別や権利擁護のことについて.....16
- 13 将来の希望などについて.....18

- この調査は無記名で行われ、統計的に処理されます。回答いただいた内容は調査目的以外に使用することはありません。

[アンケートに関するお問い合わせ先] 三鷹市 健康福祉部 障がい者支援課
 電話:0422-29-9232 / ファクス:0422-47-9577 / メール:shien@city.mitaka.lg.jp

あなたの声をお聞かせください
 生活と福祉についてのアンケート【ご協力をお願い】

三鷹市では、「だれもが住み慣れた地域で生涯にわたり安心して暮らしていけるまち」の実現を目指して、福祉サービスの充実に取り組んでいます。
 この度、障がいのある方の生活実態や障がい福祉に関するお考えを聞かせていただき、三鷹市の障がい福祉施策に活かすために、調査を行うこととしました。障がいのあられる方への支援を充実するため、本調査にご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年9月 三鷹市長 河村 孝

回答方法について

- 郵送でお答えの方は、記入が完了したら**令和4年10月5日(水曜日)**までに、返信用封筒(切手不要)に入れて、ご返送ください。
- この調査は、Web ブラウザからの回答が可能です。
 Web による回答をご希望の方は、若の二次送付バーコードをスマートフォン・タブレットで読み込んでください。
- Web で回答される場合は、最初の設問には、識別用コードを入力してください。この識別用コードは、紙の調査票による回答との重複を判定するために使用されており、個人を特定するためのものではありません。
- Web でお答えの方は、**令和4年10月12日(水曜日)**までに、回答を完了してください。
 音声読み上げ用にテキスト形式のアンケートを希望される場合は、件名を「生活と福祉アンケート テキスト調査票希望」とし、本文を空欄で、障がい者支援課 (shien@city.mitaka.lg.jp) までメールをお寄せください。

回答にあたってのお願い

- あなた(宛名のご本人)がご回答ください。おひとりご回答するのが難しい場合は、施設の職員の方やご家族の方のサポートを受けながら回答していただいても結構です。
- 答えたくない質問や、記入しづらい項目がありましたら、その質問を飛ばして、次の質問にお進みください。

1 回答いただく方について

問1 この用紙(調査票)に回答するのは誰ですか。(○は1つ)

1. 発症の方ご本人が記入
2. 発症の方から回答を聞いて、別の方が代筆
3. 発症の方が回答できないので、別の方が回答

2 あなた(宛名の方)ご自身のことについて

問2 性別をご回答ください。(○は1つ)

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 答えたくない

問3 年齢をご回答ください。(8月1日現在、○は1つ)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代

問4 住んでいる地域はどこですか。(○は1つ)

1. 井口
2. 深大寺
3. 野崎
4. 笑沢
5. 上連雀
6. 宇連雀
7. 奉礼
8. 新川
9. 北野
10. 甲原
11. 井の頭

問5 現在の住居はどれですか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建て)
2. 持ち家(集合住宅)
3. 賃貸住宅
4. 施設・市営住宅
5. グループホーム
6. 社宅・寮
7. その他()

問6 一緒に暮らしているのは誰ですか。(○はいくつでも)

1. ひとり暮らし
2. 配偶者(夫もしくは妻)
3. 子ども
4. 親
5. 兄弟姉妹
6. その他の親族
7. 友人・知人
8. グループホーム、寮の職員や仲間
9. その他()

3 あなた(宛名の方)の障がいの状況について

問7 お持ちの手帳等は、どれですか。(○はいくつでも)

身体障がい	1. 身体障害者手帳1級	4. 身体障害者手帳4級
	2. 身体障害者手帳2級	5. 身体障害者手帳5級
	3. 身体障害者手帳3級	6. 身体障害者手帳6級
知的障がい	7. 愛の手帳1度	9. 愛の手帳3度
	8. 愛の手帳2度	10. 愛の手帳4度
精神障がい	11. 精神障害者保健福祉手帳1級	
	12. 精神障害者保健福祉手帳2級	
	13. 精神障害者保健福祉手帳3級	
	14. 自立支援医療費(精神通院)支給認定受給者証	
難病	15. 特定医療費(指定難病)受給者証	
	16. マルチ医療券	
	17. いずれも持っていない	

問7-1へ

※身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。

問7-1 手帳に記載されている障がいは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 視覚障害
2. 聴覚障害
3. 平衡機能障害
4. 音声・言語・そしゃく機能障害
5. 肢体不自由(上肢、下肢、体幹、運動機能障害など)
6. 内部機能障害(心臓、腎臓、肝臓、呼吸器、小腸など)

問8 発達障害、高次脳機能障害と診断されたことがありますか。(〇はいくつでも)

1. 発達障害と診断されたことがある
2. 高次脳機能障害と診断されたことがある
3. いずれもない

※「1. 発達障害と診断されたことがある」と回答した方にお聞きします。

問8-1 診断されたのはどれですか。(〇はいくつでも)

1. 自閉症スペクトラム障害(ASD)
※アスペルガー症候群・高機能自閉症・広汎性発達障害など
2. 学習障害(LD)
※読字障害・書字表出障害・算数障害
3. 注意欠如・多動性障害(ADHD)
4. わからない

※「2. 高次脳機能障害と診断されたことがある」と回答した方にお聞きします。

問8-2 診断された「障がいの種類(記憶障害、注意障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害など)」をご記入ください。(自由記入)

4 医療について

問9 医療について困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 近所に診てくれる医師が少ないこと
2. 専門的な医療機関が近くにないこと
3. 通院や健康診断を受ける時に、行き帰りの付き添いをしてくれる人がいないこと
4. 医師や看護士とのコミュニケーションを手助けしてくれる人がいないこと
5. 通院の際に、自分の状況がわかっている人が毎回付き添ってくれるとは限らないこと
6. 医療について気軽に相談する場所がないこと
7. 医療費の負担が大きいこと
8. その他()
9. 困っていることや不安は特になし

問10 現在、次の医療的ケアを受けていますか。(〇はいくつでも)

1. 人工呼吸器
2. 気管切開
3. 鼻咽喉エラウェイ
4. 酸素療法
5. 吸引(口腔腔・気管内吸引)
6. ネブライザー
7. 経管栄養
8. 中心静脈カテーテル
9. 皮下注射
10. 血糖測定
11. 透析
12. 導尿
13. 排便管理
14. 通院時の事前押入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置
15. 医療的ケアは受けていない

問10-1へ

※医療的ケアを受けている方(問10で「1.」～「14.」のいずれかに○を付けた方)にお聞きします。

問10-1 医療的ケアを受けているために苦になっていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 医療的ケアを受けるために時間が拘束される
2. 医療器具等の取り扱いが難しい
3. 医療的ケアに関する情報が入手しにくい
4. 就労しにくい・経済的な自立が難しい
5. 外出がしにくい
6. 相談できる相手がない
7. 災害時への備えの負担が大きい
8. その他 ()
9. 特になし

5 障がい福祉サービスの利用について

問11 ①現在利用している障がい福祉サービスと、②身近にあたら利用したい、現在利用しているかもっと利用したいサービスとして、あてはまる番号に○をしてください。(○はいくつでも)

	①利用しているサービス	②利用したいサービス
介護給付サービス		
1. 居宅介護 (ホームヘルプ)	1	1
2. 重度訪問介護	2	2
3. 同行介護	3	3
4. 行動援護	4	4
5. 重度障害者等包括支援	5	5
6. 短期入所 (ショートステイ)	6	6

	①利用しているサービス	②利用したいサービス
7. 療養介護		
医療と療養介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行う。	7	7
8. 生活介護		
療養に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動や生産活動の機会を提供する。	8	8
9. 施設入所支援		
施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行う。	9	9
訓練等給付サービス		
10. 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)		
地域での自立した生活を希望する人に、必要な身体機能や基本的な生活能力を身に付けるための訓練を行う。	10	10
11. 就労移行支援		
就労を希望する人に、就労体験の機会を提供し、必要な知識や技術を身に付けるための訓練や相談支援を行う。	11	11
12. 就労継続支援 (A型・B型)		
企業等での就労が難しい人に、就労機会の提供や必要な知識や技術の向上に必要な訓練を提供する。	12	12
13. 就労定着支援		
就労に伴う環境の変化で生活に困難がある人に対し、企業・事業所や関係機関との連絡調整や各種相談を行う。	13	13
14. 自立生活援助		
定期的な自己訪問により利用者の生活状況を把握し、必要な情報提供やアドバイス、連絡調整を行う。	14	14
15. 共同生活援助 (グループホーム)		
共同生活を行う住居において、相談、入浴、排せつ、食事の介護などを行う。	15	15
相談支援サービス		
16. 地域移行支援		
障害者施設や精神科病院等から退院している人に、住居の確保や地域において生活するための相談支援を行う。	16	16
17. 地域定着支援		
自宅などで暮らしを営む人に対し、障がいによって生じた緊急事態の際に相談支援や緊急訪問を行う。	17	17
18. 計画相談支援		
障がい福祉サービス等の申請時に、サービス利用計画を作成、法定後継事業等と連絡調整し、サービス利用計画を作成する。サービス利用状況のモニタリング、事業所等との連絡調整、必要に応じた申請の勧奨等を行う。	18	18

その他のサービス	①利用しているサービス	②利用したい・もっと利用したいサービス
19. 移動支援 屋外での移動が困難な障がい児者に対して、外出のための支援（ヘルパーによる移動の介助等）を行う。	19	19
20. 訪問入浴サービス 家庭での入浴が困難な障がい児者に対して、入浴のための支援（入浴車の派遣、入浴時の介助等）を行う。	20	20
21. 日中一時支援（日中一時ステイ） 障がい児者に対して、日中の活動の場を提供し、見守りや日常的な訓練等の支援を行う。	21	21
22. 緊急一時預かり支援 保護者の療養等の緊急時に、福祉事業所等が一時的に障がい児者を預かる。	22	22
23. 訪問レスパイト（家族等支援事業） 障がい児者のレスパイトを目的に、訪問看護師の派遣を行う。	23	23
24. いずれもない	24	24

問12 障がい福祉サービスを利用するにあたって、困っていることは何ですか。

(〇はいくつでも)

1. 利用したいサービス希望する日や時間に獲えない
2. 利用資格や条件（認定など）が合わない
3. 利用したい事業所に空きがない
4. どの事業者がよいのかわからない
5. 利用方法・契約方法がわからない
6. 利用したいサービスが市内で利用できない
7. どのようなサービスが利用できるのかわからない
8. 利用しているサービスに不満がある
9. サービスの利用にかかる自己負担が大きすぎる
10. その他（ ）
11. 困っていることは特になし

6 就労について

問13 現在、どのような仕事をしていますか。(〇はいくつでも)

1. 会社・団体などの社員・職員として働いている
2. アルバイト、パート、嘱託、契約社員などで働いている
3. 作業所などの福祉施設で働いている
4. 自営業として働いている
5. 内職など、自宅で仕事をしている
6. 家族の手伝いをしている
7. その他（ ）
8. 働いていない

※「8. 働いていない」と回答した方にお聞きします。

問13-1 仕事に就くことを希望していますか。(〇は1つ)

1. 就労を希望していて、仕事を探したり、開業の準備をしている
2. 就労を希望しているが、特に情報を収集したりはしていない
3. 就労は希望していない

問14 どれくらいの頻度・時間で働きたいですか。①頻度、②1日の勤務時間それぞれあてはまるものを選んでください。(〇は1つずつ)

① 頻度	② 1日の勤務時間
1. 週5日以上	1. 7～8時間
2. 週4日	2. 5～6時間
3. 週3日	3. 3～4時間
4. 週1～2日	4. 1～2時間
5. わからない	5. わからない

問15 障がいのある人が働くためには、どのようなことが必要だと感じますか。(〇はいくつでも)

1. 就労に向けての訓練や研修の機会が充実すること
2. 仕事を探すための手助けなどの支援が充実すること
3. 市役所など公共的な機関が、障がいのある人を積極的に雇うようになること
4. 雇う側の理解が進み、障がいのある人を積極的に雇うようになること
5. 福祉的就労（作業所などでの障がいの者向けの就労）の場を充実させること
6. 一般就労（一般の企業などでの就労）の枠が広がること
7. 多様な働き方（短期間就労など）が広がること
8. ジョブコーチなど、就職した後の支援が充実すること
9. 障がいのある人でも過ごしやすい職場環境（バリアフリーなど）であること
10. 職場の人の手助けが得られること
11. その他 ()

7 収入について

問16 主な収入は何ですか。(〇は1つ)

1. 給与
2. 立替
3. 事業収入
4. 財産収入
5. 年金
6. 福祉手当
7. 生活保護費
8. その他 ()
9. 特にない

※「1. 給与」または「2. 立替」と回答した方にお聞きします。

問16-1 給与または立替は、1か月あたりどれくらいですか。(〇は1つ)

1. 1万円未満
2. 1万円以上3万円未満
3. 3万円以上5万円未満
4. 5万円以上7万円未満
5. 7万円以上10万円未満
6. 10万円以上15万円未満
7. 15万円以上20万円未満
8. 20万円以上25万円未満
9. 25万円以上

8 社会活動などについて

問17 平日の日中はどこにいらることが多いですか。(〇はいくつでも)

1. 通所施設
2. テイクアウト施設
3. 職場（勤務先、アルバイト先など）
4. 自営業の仕事先 ()
5. 学校
6. 自宅
7. その他 ()

問18 平日の日中以外はどこで過ごしていますか。(〇はいくつでも)

1. 自宅
2. 日中一時支援事業所
3. ボランティアが活動している場所 ()
4. 障がい者団体の活動場所
5. 趣味の活動場所
6. その他 ()

問19 余暇活動としてしたいことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 買い物
2. 映画館や文化施設・レジャー施設に行く
3. スポーツ・運動をする
4. 旅行
5. 地域の行事などに参加する
6. ボランティアをする
7. 習い事や資格を取得するための勉強
8. 散歩
9. その他 ()

問20 外出時などに困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 身近に付き添ってくれる人(家族、ボランティア等)がいない
2. 障がいのサービスによる支援が受けられない
3. 他人との会話が難しい
4. 目的地への経路(道順)が覚えられない
5. まわりの人が障がいに気づきにくく、手助けを求めることが難しい
6. 椅子を手助けを求めているわけではない(椅子にも、声をかけられてしまう)
7. 歩道が狭い、道端に段差が多い
8. 道端に放置自転車などの障害物が多く、歩きにくい(車いすで通りにくい)
9. 建物などに階段が多く、利用しにくい
10. 障がいの者用駐車場が少ない
11. 気軽に利用できる移送手段(ハンディキャブ、福祉タクシー等)が少ない
12. 電車やバスなどの交通機関が利用しづらい(路線図などがわからぬなど)
13. 障がいの者が利用できるトイレが少ない(トイレを見つけたことが少ない)
14. その他 ()
15. 特に困っていることはない

問21 新型コロナウイルス感染症(Covid-19)の拡大に伴い、どのような生活の変化がありましたか。(〇はいくつでも)

1. 自由に寝る時間が増えた
2. 人と会うストレスが軽減された
3. 在宅勤務等により通勤・通学時のストレスが軽減された
4. 外出しにくくなった
5. 気が転換、ストレス解消がうまくできなくなった
6. 体力が低下した
7. 通学・通勤がしにくくなった
8. 福祉サービスの利用が減った
9. 他の人とコミュニケーションが取りにくくなった
10. マスクの着用で肌で不快感や痛みを覚えるようになった
11. オンラインでの申し込みや支払いなどがわかりにくく、必要な手続きがしにくくなった
12. 新しい生活様式のための支出(マスクや消毒液などの購入費)が増えた
13. 収入が減少した
14. その他 ()
15. 特にない

9 相談について

問22 日常生活や障がいのことなどで困った時に、相談できる人は誰ですか。(〇はいくつでも)

1. 家族・親せき
2. 障がいのある友人、知人
3. 友人、知人、近所の父
4. 相談支援専門員、ケアマネジャー
5. 病院のスタッフ
6. 通所施設や勤労法のスタッフ
7. 市役所の相談窓口(障がい者支援課)
8. 市役所の相談窓口(障がい者支援課以外)
9. 相談支援センターのスタッフ(ほっぴが、ゆー・あい、かけはし など)
10. ホームヘルパー、ガイドヘルパー
11. 民生委員や障がい者相談員
12. ボランティア
13. その他 ()
14. 誰もいない

問23 相談について困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 相談できる人がいない
2. 夜間や休日などに相談するところが
3. どこ(誰)に相談したらよいかわからない
4. 相談しても満足いく回答が得られない
5. プライバシー保護に不安がある
6. その他 ()
7. 特に困ることはない

10 情報入手などについて

問24 福祉制度やサービスなどの情報をどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

1. 市役所の窓口
2. 市のホームページ
3. 広報みたか
4. 障がいの者のためのしおり
5. インターネットやSNS
6. 障がい福祉施設のスタッフ
7. 相談支援専門員、ケアマネジャー
8. 相談支援センター(ほっぴが、ゆー・あい、かけはしなど)のスタッフ
9. 病院のスタッフ、福祉係
10. 障がい当事者団体の会合・会報など
11. 家族や親せき
12. 友人や知人
13. 民生委員や障がい者相談員
14. その他 ()
15. 特にない・情報は入手していない

問25 普段の生活でコミュニケーションを取る際に使用している手段は何ですか。(〇はいくつでも)
(〇はいくつでも)

1. 対面
2. 電話
3. ファクス
4. 電子メール・ショートメッセージ
5. 点字
6. 手話
7. 契約筆記
8. コミュニケーション支援ボード
9. LINE、TwitterなどのSNS
10. その他 ()

問26 情報入手やコミュニケーションで困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 案内がわかりにくい
2. 音声情報が少ない
3. 文字情報が少ない
4. 問い合わせ先の情報にファクス番号やメールアドレスの記載がない
5. 公共施設に契約筆記者がいない
6. 公共施設に手話通訳者がいない
7. 話をうまく組み立てられない、うまく質問できない
8. 相手が介助者と話してしまう
9. 複雑な文章・表裏がわかりにくい
10. 難しい言葉や草口で話されるとわかりにくい
11. その他 ()
12. 特に困ることはない

11 災害時対策、緊急時の対応などについて

問27 災害に備えて、準備をしていることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 非特持ち出し袋の準備
2. 水や食料などの備蓄
3. 薬や日常生活用具などの備蓄
4. 一時避難場所や避難所の場所の確認
5. 避難所へのルートの確認
6. 避難する時の介助・支援者の確保
7. 連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め
8. 情報入手手段の確保
9. ヘルプカードの所持・記載
10. 医療的ケアが受けられる環境の確保
11. その他 ()
12. 特に準備していない

問28 災害時の備えとして足りていないことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 非特持ち出し袋の準備
2. 水や食料などの備蓄
3. 薬や日常生活用具などの備蓄
4. 一時避難場所や避難所の場所の確認
5. 避難所へのルートの確認
6. 避難する時の介助・支援者の確保
7. 連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め
8. 情報入手手段の確保
9. ヘルプカードの所持・記載
10. 医療的ケアが受けられる環境の確保
11. その他 ()
12. 不足しているもの・できていないことは特にない

問29 災害時の準備をする上で、困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 何を備蓄すればいいのかわからない
2. 備蓄を保管するスペースがない
3. 備蓄を用意する経済的な余裕がない
4. 備蓄品の使用期限を管理できない
5. 一時避難場所や避難所の位置がわからない
6. 避難ルートが適切なかわからない
7. 避難時における介助・支援者がいない
8. 非常時に利用できる情報入手手段・連絡手段が限られている
9. 非常時に医療的ケアが受けられる環境がない
10. その他 ()
11. 特に困っていることはない

問30 避難所での生活に必要な支援は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 救護物資(食事・水・衣服・薬など)の配給
2. プライバシーの確保
3. 施設のバリアフリー化
4. 施設内を移動する時のサポート
5. コミュニケーション支援
6. 医療的ケアが受けられる設備の確保
7. 障がいのある人の家族への支援
8. その他 ()
9. 特にない

12 差別や権利擁護のことについて

問31 障がいがあることで、この1年(令和3年10月～令和4年9月)の間に、差別を感じたり、嫌な思いをしたことがありますか。(〇は1つ)

1. 差別を感じたり、嫌な思いをしたことがよくあった
2. 差別を感じたり、嫌な思いをしたことが少しあった
3. 特になかった

問32 この1年(令和3年10月～令和4年9月)の間に体験した「差別を感じる対応」と、「気遣いや思いやりを感じる対応」についてお聞かせください。(自由記入)

① 差別を感じる対応 (どのような場面で、誰から)	② 気遣いや思いやりを感じる対応 (どのような場面で、誰から)

問33 成年後見制度について知っていますか。(〇は1つ)
※成年後見制度とは、知的障がいや精神障がいなどの理由により、自分ひとりで判断することが難しい方の財産や権利を守る制度です。

1. 制度の名前も内容も知っていた
2. 制度の名前を聞いたことはあるが、内容は知らなかった
3. まったく知らなかった

問34 成年後見制度を活用したいと感じますか。(〇は1つ)

1. 既に活用している
2. 将来必要になったら活用したい
3. 活用したいとは思わない
4. わからない

※「3. 活用したいとは思わない」と回答した方にお聞きします。

問34-1 活用したいと思わない理由は何か。(〇はいくつでも)

1. 制度の内容がよくわからないから
2. 相談先がわからないから
3. 知らない人に面会をしてみようとは思わないから
4. 家族相談など別の制度を既に利用しているから(利用を想定しているから)
5. その他()

13 将来の希望などについて

問35 今後、どのような暮らしをしたいですか。(〇は1つ)

1. 家族と一緒に暮らしたい
2. グループホームなどで暮らしたい
3. 障がいのある人が入所する施設などで暮らしたい
4. 家族をつくって暮らしたい
5. 一人で暮らしたい
6. その他()

問36 問35のような暮らしをする上で心配なことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 障がいの状態に関すること
2. 健康に関すること
3. 住む場所のこと
4. 家事のこと
5. 生活するための資金
6. 金銭管理に関すること
7. 契約など手続きに関すること
8. 65歳になった時のサービス利用(介護保険サービスへの移行など)のこと
9. 仕事に関すること(就職、復職)
10. 人間関係(家族、友人、隣人など)
11. 百年の過ごし方
12. その他()
13. 特に心配ことはない

※「4. 家事のこと」と回答した方にお聞きします。

問36-1 心配な家事は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 食事
2. 買い物
3. 洗濯
4. 掃除・整理整頓
5. ごみ出し
6. その他

問37 将来、主に介助・援助している人(家族など)が先に亡くなったり、高齢になって介助が難しくなったりした時に備えて、何か準備をしていますか。(〇は1つ)

1. 具体的に準備している
2. 具体的な準備はしていないが、家族などと今後のことについて話し合っている
3. 特に準備していない

※「1. 具体的に準備している」と回答した方にお聞きします。

問37-1 準備していることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 住む場所の確保
2. 生活費(収入)の確保
3. お金の管理や契約
4. 日常的な移動手段の確保
5. 家事など日常生活で必要なサポートの確保
6. 近所の人との交流
7. 困った時に相談するところの確保
8. その他()

問38 障がいのある方への取り組みとして、今後、三鷹市に重点的に進めてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

福祉サービスに関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホームヘルプサービスを充実させること 2. グループホームやアパートなどで自立して暮らせるようにすること 3. 通所施設やデイケア施設を充実させること 4. 日中一時支援や移動支援を充実させること 5. 重度の障がいがあったりも、地域の串で通える場所（日中活動の場）を確保すること 6. 重度の入居のための入所施設や短期入所を整備すること 7. 障がい者が高齢になって介護が必要になった時に生活できる場所を確保すること 8. 市のWebサイトの情報を充実させること
生活環境に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 9. 道路や公共施設などを障がいのある人にも使いやすいようにすること 10. スポーツ、レクリエーション、文化活動に参加しやすくなること 11. バスや鉄道などの交通機関をバリアフリーにすること 12. 地震や台風などの災害時の情報提供や安全対策を充実させること 13. 障がいのある人もない人も、お互いに理解しあって協力していくこと 14. 障がいのある人への差別や偏見をなくすること
地域社会に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 15. 障がいのある人への相談窓口を充実させること 16. 一人ひとりの個性を生かした教育や教育を定めること 17. 障がいのある人が、企業などで働くように支援すること 18. 手話、契約筆記、点字などコミュニケーションの支援を充実させること 19. 障がいのある人が安心して医療を受けられるようにすること 20. 自立して暮らせるように、グループホームやひとり暮らしを体験できる場があること
その他（ ）	21. その他（ ）

問39 市へのご意見、ご要望を自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

お手数ですが、記入もれがないかご確認いただき、調査票を同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご返送くださいますよう、お願い申し上げます。